

2020年6月3日

各位

SMFL レンタル株式会社

各種ロボットのレンタルサービス提供開始について

三井住友ファイナンス&リース株式会社の連結子会社であるSMFL レンタル株式会社（代表取締役社長：八瀬 浩一郎、以下「SMFL レンタル」）は、株式会社大塚商会（代表取締役社長：大塚 裕司、以下「大塚商会」）と協同で次世代ロボットのレンタルサービスを提供します。

対象となるロボットは、コミュニケーションロボット“temi”、AI 清掃ロボット“Whiz”および物流支援ロボット“CarriRo”で、いずれも、人とのコミュニケーション、人の業務、人の労働の補助などを行うサービスロボットです。SMFL レンタルは、大塚商会からユーザーの紹介を受け、レンタルサービスまたはレンタルスキームの提供を行います。今後、ユーザーのニーズに合わせて取扱うロボットを広げていく予定です。

レンタルサービスでは、レンタル期間中に調整が必要となる或いは不具合が発生した際には速やかに代替機が提供されるなどの充実した保守サービスを付加しており、ユーザーはロボットを安定的・継続的に使用することができます。また、今回対象となるロボットは、本格導入を決定する前に検証用途の短期での使用ニーズに対して短期レンタルも提供します。

SMFL レンタルは、日本の老年人口の増加や生産年齢人口の減少という社会問題に対し、「省人化」や「省力化」をキーワードとしてロボットによる解決手段を提案します。特に中小企業では労働力の確保がますます難しくなっていますが、大企業に比べてロボットの利活用が進んでいません。SMFL レンタルでは、こうした企業に最適なレンタルサービスを提供することで、ロボット導入の裾野を広げていきます。

SMFL レンタルは、ロボットのレンタルサービスを通じて、日本の少子高齢化に伴う労働力人口の減少といった課題の解決に貢献していきます。

<エンドースメント>

株式会社大塚商会は、保守サービスを付加した次世代ロボットのレンタルサービスの提供を歓迎します。

お客様にご検討の選択肢が広がり、省人化を実現するロボティクス導入の意思決定の後押しとなります。

株式会社大塚商会 上席執行役員 トータルソリューショングループ長 大谷俊雄

《レンタルの対象となるロボット》

各ロボットの機能・用途等は、各提供元の WEB サイトをご覧ください。

コミュニケーションロボット “temi”

株式会社 hapi-robo st

<https://hapi-robo.com/>



AI 清掃ロボット “Whiz”

ソフトバンクロボティクス株式会社

<https://www.softbankrobotics.com/jp/product/whiz/>



「Whiz」「AI 清掃」の名称、ロゴはソフトバンクロボティクス株式会社の登録商標です。

物流支援ロボット “CarriRo”

株式会社 ZMP

<https://www.zmp.co.jp/carriro>



【本件に関するお問合わせ先】

SMFL レンタル株式会社

新規開発事業部

久利

03-5226-5038

以上